

事業提案書

提案グループ Aグループ

1. 事業名	公共交通と自家用車の共存事業
2. 提案目的	今回モデル地区とする只見町については、運転年齢である20歳以上の人口約3400人に対し、保有自家用車数が約3500台となるおよそ1人1台が車を保有している状況であり、この自家用車を地域の足として活用できないかの提案。これらを利用して、既存の公共交通では賅えきれない空白の時間帯に対応する。
3. 概要	<p>現在、只見町内を運行する公共交通は平日日中（8：00～15：00）に町内全域を運行しているデマンドタクシー及び只見駅一会津田島駅間を毎日2往復する定期路線バスがある。しかし、夕方以降の時間帯には子ども達のクラブ活動等の送迎・大人の飲酒を伴う飲食時の移動といった需要があるが現状では対応できていない。</p> <p>これらの需要に対応するため、「互助による輸送」及び既存デマンドタクシーの見直しという2つの施策によりアプローチをかける。</p> <p>子ども達のクラブ活動等の送迎については、15時以降の夕方がメインとなるためデマンドタクシーを見直して運行時間の横出しで対応する。</p> <p>夜間における大人の飲食時の移動については、「互助による輸送」により対応する。</p>
4. 実施主体	只見町（実施主体） デマンドタクシー業務受注業者（デマンドタクシーの見直し） 町の体育館利用者（互助による輸送） ※夜間、町の体育施設を利用する人が多いことが判明しているため、活動後帰宅する各団体の自家用車に協力をしていただき、大人の飲食時の移動に対応する。 町の体育協会を受け皿とし、費用弁償だけでなく別途マージンを設けたい。（体育施設利用料の減免等）
5. 予算概要	約500万円 只見駅一会津田島駅間を運行する定期路線バスの利用者には南会津病院への通院を目的とする方が多い。その中で診療科目がある曜日により火・水・木曜日の利用が少ないため、これらを減便することにより予算を捻出する。